

じぶんのまちを良くするしくみ



赤い羽根共同募金

国府町総合福祉センターだより



令和3年
10/1～12/31

今年で75回目を迎える赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まりました。現在、各自治会を通じて戸別募金、町内事業所へは法人募金、学校・公共施設などに募金箱を設置し可能な範囲で募金の協力をお願いしております。

子どもからお年寄りまで、みんなが一緒に安心して暮らせる町づくりのために、皆様のご支援・ご協力をお願いします。

本会では、赤い羽根共同募金を財源に鳥取市内の保育施設へ大型絵本、小中学校には図書カードの贈呈をしています

この度、町内の2保育所、2小学校、2中学校、盲・聾学校にそれぞれ贈呈しました。

今年も早い梅雨入り、真夏の長雨、秋になっても夏日が続くなど変な天候でしたね。ようやく秋も深まって色とりどりの紅葉が目を楽しませてくれています。それが過ぎれば冬到来。

今年もスノーモンスターの来る前に、冬支度に取り掛かります。恒例の『雪かき隊』ボランティアを募集します!!

高齢者世帯等を対象に、生活道等の除雪を行うボランティアとして参加・登録をお持ちしております。

『我こそはと言った体力自慢の方集まれ!!あなたの力を貸してください。』



雪かき隊!! ボランティア募集



編集・発行
国府町総合福祉センター

地域福祉担当
〒680-0142 鳥取市国府町麻生 4-2
TEL (0857) 22-1880
FAX (0857) 22-1889
✉ kokufu@tottoricity-syakyo.or.jp

介護支援担当
〒680-0136 鳥取市国府町糸谷 15-1
TEL (0857) 26-5180
FAX (0857) 26-5185

令和3年11月1日
第51号

地域の集いの場
いきいきサロン始めませんか?

いきいきサロンとは、地域住民と一緒に自宅から歩いて行ける場所に集い、おしゃべり、レクリエーション、趣味、体操などを「気軽に」「無理なく」「楽しく」「自由に」活動し、和気あいあいとした時間を過ごす場所です。最近では、「コロナ禍もあり、ご近所であいさつをする機会や玄関前の立ち話など、住民同士のコミュニケーションが減ってきたと感じておられないませんか?」

サロンはそんな地域の方たちが参加し、定期的に集まることで顔なじみの輪を広げいきいきとした楽しい生活を送ることを目的としています。

- ★実施回数…年間6回以上
- ★人数…5人以上
- ★サロン内容…
茶話会、食事会、おしゃべり、ゴルフ、季節行事など活動は自由です。

- ★助成金・サロンに係る経費の一部を助成しています。
1万円～2・2万円
※回数や人数により額が異なります。



★問い合わせ

国府町総合福祉センター(あかね荘内)
電話 22-18800

サロンの開始・運営のサポートをさせていただきます。お気軽にご相談ください。



ハロー！デイサービスです。



福祉よろず相談処 地域福祉相談センター

国府町総合福祉センター（あかね荘内）では、福祉に関する相談を随時受付しています。家庭や地域での困り事・気になる事何でもご相談ください。相談内容によって適切な専門機関へおつなぎします。来所・電話・メールいずれでも相談可能です。

電話：22-1880
メール：kokufu@totatoricity.syakyo.or.jp

心配ごと相談所



民生委員・児童委員、行政相談員、人権擁護委員による心配ごと相談所を開設しています。日ごろ、心配ごと等でお困りの方はご相談ください。

場所：老人福祉センターあかね荘
時間：午後1時30分～4時

【日程】

- ・ 11月18日（木）
- ・ 12月16日（木）
- ・ 1月20日（木）

皆さんこんにちは！シリーズ「ハロー！デイサービスです。」季節としては秋真っ只中でも、まだまだ気温30℃の夏日が続く10月中旬、国府デイ大運動会を開催しました。

君が代斉唱で運動会ムードのなか、いざ本番！綱釣りの競技で“めでたい”始まり、“車椅子体験”ならぬ車椅子を使ったチーム対抗リレー、ボールを隣の方へ渡しながらか、腰のエクササイズ、最後にパン食い（取り）競争で自分のおやつを獲得し、“お腹。パン”と心も体も満たされて過ごしていたいただきました。

普段よりも手足がよく上がったりよく動けたり、よく喋ったり、よく笑ったり。鳥取からコロナウイルスを吹き飛ばす程の勢いに包まれた3日間でした。

ど〜んとこい ケアマナ!

本会ケアマナが耳寄り情報をお伝えする「ど〜んとこいケアマナ」から、今回は『高齢者の歩行と福祉用具について』お知らせします。歩くことは日常生活にとって基本的かつ重要な動作です。歩かなくなると家に閉じこもりがちになり、やがて寝たきりになってしまいうこともあります。

個人差はありますが、人間は年齢とともに足腰の筋力も衰え、人によっては痛みをともなったりします。不安定な状態で無理をして歩くと転倒して、要介護状態になってしまうケースがよくあります。そのためにも転ばないことが大切で、歩行をサポートする様々な福祉用具があります。ご本人の身体の状態や使う場所によって最適なアドバイスをさせていただきますのでお気軽にご相談ください。

☆シルバーカー



フレームの下に車輪が付いた歩行補助具。障害の軽度の方や脚力の弱ってきた高齢者の外出を補助し、行動範囲を広げます。なお、国府町地域福祉推進協議会では、シルバーカーの購入助成（毎年度5月頃）を行っています。

☆歩行器



四脚のフレーム構造で、握り部以外には支持部のない歩行補助具。固定型、交互型、四脚二輪付き、前腕支持型など様々なタイプがあります。

☆杖

歩行時に身体を支え、バランスを維持します。T字杖、四脚杖、折りたたみ杖など様々なタイプがあります。



奉仕団奉仕活動

国府町赤十字奉仕団の皆さんが、谷地区公民館、国府町デイサービスセンター周辺の除草作業を行ってくれました。この活動は毎年恒例で当日は、約20人の団員が、草刈り機と鎌で、夏の暑さにも負けない、しっかりと根を張った夏草を奇麗に取り除いていただきました。暑い最中、本当にありがとうございました。



あとがき

もう随分前のことのようにですが賛否両論の中、開催されたオリンピック・パラリンピック。開催までにいろいろありました。が終わってみれば、それも思い出です。私の中でメダルは、男子マラソンで6位入賞した大迫傑選手です。レース前、現役として最後のレースと表明し、力のすべてを出し切りました。彼は低迷する日本マラソン界に風穴を開けました。前例にとらわれず挑戦し道を切り開いてきました。まさに、こっちの「大迫も半端ないって」(笑)何をやってもリスクは伴います。リスクのない挑戦はありません。そんな中で、大会を支えた関係者の大変なご努力に敬意を表します。そして、選手の皆さんありがとう。アスリートの真剣勝負はやっぱり面白い。(T・K)